

第3次 東近江市地域福祉活動計画

「東近江市地域福祉活動計画」は、東近江市に暮らす高齢者や障がい者、子どもをはじめ、すべての住民が支え合い、安心して暮らし続けることができる『福祉のまちづくり』を進めていくための計画です。

「地区住民福祉活動計画」「地域福祉推進計画」「基盤強化計画」の3つの計画で構成しています。

地区住民福祉活動計画

住民がすすめる福祉のまちづくりの目標であり、活動していくための計画。

市内14地区でそれぞれに、福祉活動やまちづくりに携わる住民のみなさんと策定。

住民の「こんな地域にしたい」という思いや、「地域らしさ」をカタチにしたもの。

地域福祉推進計画

東近江市社会福祉協議会が住民や様々な団体・関係機関とともに、市域で地域福祉活動を推進していくための計画。

スローガン

つながりと地域愛でつくる
ふだんのくらしのしあわせ

目標① ふだんのくらしの場で一人ひとりが
誰かとつながれる機会や場づくり

目標② 困っている人をほっとかない
支え合える地域づくり

目標③ 一人ひとりを知り、理解し合うための福祉共育

目標④ 困りごとの解決に向けたネットワークの構築

目標⑤ 命と暮らしを支える社協の相談支援体制の強化

目標⑥ 福祉のまちづくりをひろげる情報発信

目標⑦ 福祉のまちづくりを推進するためのサポート

基盤強化計画

地域福祉を推進するために必要な、東近江市社会福祉協議会の組織や体制のあり方を示し、その基盤の強化をすすめるための計画。

《南部地区住民福祉活動計画》

策定：なんぶ未来会議

編集・発行：社会福祉法人 東近江市社会福祉協議会

(Tel 0748-20-0555 IP 0505-801-1125 Fax 0748-20-0535)

第3次 南部地区住民福祉活動計画

歩きながら考える南部のまちづくり

令和4年度～令和8年度



なんぶ未来会議

社会福祉法人 東近江市社会福祉協議会

歩きながら考える南部のまちづくり

～赤ちゃんから高齢者まで、多世代とつながれるまちに～

私たちがなんぶ未来会議は、
第3次南部地区住民福祉活動計画を策定しました！
※なんぶ未来会議とは、南部地区に住む住民同士が、南部の
ふくしのまちづくりについて話し合っている組織です。こ
の計画は、住民アンケートをもとに作成しています。

住民 の声

《良いこと》
☆住むのに便利 ☆災害が少ない
☆地域のしがらみがない

《心配なこと》
☆地区意識がない☆自治会加入率の低下
☆色んな人とつながれない

地域のしがらみがないのが良かった。しかし、
しがらみがないと住民同士が繋がれない。
私たちは、” 心配なこと” を和らげるように
3つの取り組みを重点的に行っていきます！

①なんぶ未来会議の発展

若い世代も巻き込んで
みんなで南部地区のこ
とを考えていきます！



○現在、メンバーは、60・70代が中心です。し
かし、南部地区には若い世代がたくさん住ん
でいます。これからを担う人たちと一緒に、
南部の“ふくしのまちづくり”について話し合っ
ていきます。

Mission 各年代の参加者を
増やす！

②ほっとまちカフェの継続



カフェから生まれた気づきや思い、つながりから、活動を考えていきます。
○ほっとまちカフェが立ち上がり6年目。
コミセンに地域の人々が気軽にきて楽しい時間を過
ごしてもらえるようにしてます。
○防災や演芸などもコラボしながら、たくさんの人に
来てもらえる工夫をします。

Mission ほっとまちカフェ
を充実させる！

③つながるきっかけづくり

地域みんなが集える
場所・得意を発揮する
場を作ります！



○気兼ねなくふらっと立ち寄れる場所、何かし
たい！を実現できるそんな南部地区みんなの
拠り所を作ります。
○子育て・暮らし・老後など、目的別の懇談会
を実施し、仲間づくりの機会を増やします。

Mission ボランティアセンター
を立ち上げる！

私たち南部地区は、住民同士の“ほどよいしがらみ”をつくっていきます

